

# 日本列島 組合探検隊



## 新製品・新技術・地域資源を活かした産学官連携による継続的な新製品開発 ～津山木工芸品事業協同組合（宮城県）～

### ◆背景と目的

宮城県の北東部に位置する旧津山町（現：登米市津山町）は典型的な林業の町である。町は地域資源である杉材の有効活用と雇用創出を図るため「木工芸の里づくり」を重点施策とし、昭和45年に木工芸の新たな担い手の育成を目的に「津山町木材加工研修施設」を建設し、東北工業大学との共同研究により間伐材を利用した矢羽集成材を開発、技術的に困難とされていた杉の木工芸品の製品化に成功した。その後、昭和57年に展示販売施設「クラフトショップもくもくハウス」を設置し、町の研修施設で学んだ木工職人12名により協同組合を設立、「もくもくハウス」を流通拠点に本格的な活動を開始した。

### ◆事業・活動の内容

杉の間伐材の有効活用を図るため、産（組合）・学（大学）・官（町、公設研究機関）の連携により開発した矢羽集成材は、共同生産事業によって組合員に提供され、きれいな矢羽模様の木目を生かした組合員の製品は、「もくもくハウス」を拠点に共同販売事業で流通されている。

町が地域資源の活用という明確な目的を持ち、補助事業等を有効に活用し大学から技術やデザイン面での高度な支援を受け、宮城県産業技術総合センターが商品化までを総合的に支援することにより、月に3

～4品は新製品が生まれており、皿等の小物から家具まで現在の販売アイテム数は800種類にも及ぶ。

### ◆成果

「もくもくハウス」をはじめ、産直野菜等販売施設、飲食店、地域情報発信施設による「もくもくランド」は道の駅となり、今や人口の60倍にあたる年間30万人もの観光客が訪れる地域の顔に成長した。

組合員は大学や公設試験機関からの支援により技術面・デザイン面の高度化が図られ、より売れる商品が製作でき、売上与創作意欲の増進に繋がっている。また、継続的な新製品の開発による需要喚起は、共同販売事業、共同生産事業の売上増に繋がっている。



「もくもくハウス」

### 【組合の概要】

所在地：登米市津山町横山字細屋26-1

電話：0225-69-2341

設立：昭和57年12月 組合員：16名

URL：http://moku2.biz/

## 事業の国際的展開 伝統技に創造性を加えて、世界市場を目指す静岡家具 ～静岡県家具工業組合（静岡県）～

### ◆背景と目的

海外の安価な家具の流入、ライフスタイルの変化に伴う家具業界の低迷などにより組合員が減少している中、国際感覚のあるデザイナーを招聘し、静岡家具の技術力をベースにした製品開発やブランドコンセプトの構築により、海外市場でも通用する・売れる「静岡家具ブランド」の確立を目指している。

### ◆事業・活動の内容

国のJAPANブランド育成支援事業を活用し、ワーキング委員会を立ち上げ、静岡家具ブランドを確立するため、市場調査、ブランドコンセプトの確立、価値観の共有、ブランド名称やロゴの開発に取り組み、イタリア人デザイナーによるデザイン提案がなされ、それらについて、国際見本市でイメージ調査を実施した。加えて、情報発信のためのホームページの立ち上げや海外見本市の視察も実施した。その後、19アイテム25点の試作品を制作し、国際見本市への出展、セールスプロモーションツールの開発、ホームページのリニューアル、プレスリリースなどを通じて情報発信を強化した。実施上の工夫は、イタリア人デザイナーによる創造性を生かした製品開発、コーディネーターなどの専門家を活用したアク

ションプラン策定など戦略志向で、マーケティング手法とPDCAサイクル手法を展開していることが挙げられる。

### ◆成果

海外見本市等で繋がりができた企業との関係を強化していくこと、また、それをビジネスに繋げていくこと、製品の完成度を高めるために、多くの貴重なアドバイスなどを製品改良に活かしていくことなどで、静岡家具ブランドの確立を目指していく。

「静岡家具」を欧米や国内で支持されるブランドに成長させていくことが、静岡家具業界の活性化に繋がりがつあり、今後、これらの取り組みが結実していくこととなる。



出品作品

### 【組合の概要】

所在地：静岡市葵区駒形通7-8-21

電話：054-254-7201

設立：昭和45年11月 組合員：90名

URL：http://s-kagu.or.jp